

編集後記

今年から紀要委員として新たに森岡、河野の二名が加わった。委員が増えると事務処理がはかどるというのありがたいが、査読者選択の幅がひろがって、論文・作品の内容に対してよりふさわしい方をきめ細かく選べるようになったことが大変よかったと思っている。そういうわけで実際、学外の査読者11人のうち5人が今回新たにお願いした方々である。

今年の応募は23件で内訳は論文15件作品8件であった。昨年少なかった作品が今年再び増えたのが目立つ。昨年の委員会で、作品はずっと減る傾向かと案じたが杞憂にすぎなかったのは幸いである。論文はこのところほぼ一定の数を維持してしる。

しかし応募者を見ると、論文については今回初めてという方はほんの二三人だけであり、作品に至っては初めてという方は一人もない。応募者がこのように偏っていることは好ましいことではない。まだ一度も投稿したことのない先生は来年以降ぜひ投稿されるよう望みたい。そのためにも紀要に載った論文・作品は必ず目を通していただき、ご自分の研究のヒントを擲んでいただくなり、共同研究を呼びかけるなりして頂きたいものである。

毎回表紙デザインをお願いしてきたデザイン学科の山崎先生が退職のため、残念であるが今回限りとなってしまった。紀要の顔として、毎回魅力あるデザインを創作して下さったことに改めて厚く感謝申し上げたい。

平成10年3月

紀要編集委員会 委員長 森 典彦

東京工芸大学芸術学部紀要 Vol. 4

1998年3月31日 発行

編集 東京工芸大学芸術学部
紀要編集委員会

発行 東京工芸大学芸術学部
〒164-8678 東京都中野区本町2-9-5
Tel. (03) 3372-1321
Fax. (03) 3372-1330

印刷 有限会社 啓文堂 松本印刷
東京都新宿区早稲田鶴巻町565-12